

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2394200170
事業所名	認知症対応型グループホーム南天

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 新型コロナウイルス感染症対策を第一にしつつも地域との関わりは大事として、感染状況の浮き沈みを確認しつつ、終息感がみられる時期には地域のスーパーマーケットに買い物に出かけたり、「電子紙芝居」ボランティアの受け入れをおこなっています。また法人では毎月認知症カフェが開かれ、今9月に開催された大府市福祉健康フェアではブースを受けもつなど、果敢な取組みが見られます。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 民生児童委員、地域包括支援センター、大府市高齢福祉係といったメンバーで構成された運営推進会議を2ヶ月に1度開催する体制を整えています。コロナ禍で集会の形はとれないことから書面開催としています。運営推進会議資料をメンバーに届けるとともに、意見や感想をもらえるよう仕組みをつくり、適切な運営につなげています。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 直近では知多北部広域連合による実施指導の機会もあり、また「サービス計画書3表をセンター方式の24時間シートのように時系列の形式にしたい」との事業所の要望も理解くださり、改定許可を得ています。また運営推進会議のメンバーである地域包括支援センターからはコロナ禍対応における他施設の効果的な取組みについて情報提供もあり、良好な関係が築けていることが伝わります。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） コロナ禍なもの「家族との関わり」に重きをおき、ワクチン接種やマスク装着などの衛生管理を前提に「居室で15分以内」の面会を継続しています。またカラー写真満載の「南天通信」を毎月発行したり、保清や衣食といった項目を設けた「生活満足度調査」を実施する等、家族との相互理解を図る取組みが開設間もないこの段階で出来ていることは評価に値します。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	—	—	○								